



地域文化の創造発展に寄与する村民総参加による「読谷まつり」。そこに暮らす人々の心意気、たくましさが一挙に沸き、燃え上がるまつりです。私たちの心に生きる琉球三絃音楽の始祖「赤犬子」・大交易時代の先駆者「泰期」。先人たちの夢とロマンが時を越えて蘇ります。伝統文化が咲き揃うまつりでお互いの日々の健闘を讃え合い、未来へ共に発進。継承され、自律していく力。そこに私たち読谷のむらづくりが見えます。



# 読谷まつり



昭和五〇年に読谷村文化まつりとしてスタートした「読谷まつり」は平成二六年に第四〇回を迎えました。発掘・継承・創造・自立を指標に、全村民が結集してむらづくりの心意気を示す村の「一大イベント」。老いも若きも、それぞれの立場から平和の祈りを込め、演目に取り組みます。この日は一人ひとり主人公となり、読谷のエネルギーがたぎる炎がたちのぼります。



# 祭り

謡え、踊れ、語れ。  
今、伝統と平和を愛する読谷が未来への発信地!!



## いちへき泰期まつり

かつて沖縄が琉球と呼ばれていた時代、困難な航海をものともせず明へ渡った読谷の偉大な先人「泰期」。その勇気を受け継ぐことを目的として開催されるまつりです。



## 青年エイサーまつり

夏の風物詩。村内各字から伝統芸能エイサーが一堂に集います。



発信地!!